

することが出来るのである

吾人深く此處に鑑み此際是非權威あり又節制ある團體の結束の努力の必要を感じ今回有志相計り從來分立したる各團體を打つて一九〇〇年以て海員本來の使命と希望を全ふせんとするのである是れ即ち本組合の成立を見るに至つた所以である

綱 領

本組合ハ現ニ人口過多ト人種排斥ノ難關ニ在ル我國情ト海運ノ關係ニ鑑ミ海員ノ使命ト地位トヲ自覺スルト共ニ政府當局及ヒ船主ノ反省ヲ促シ

第一ニハ我海員共同ノ福利擁護増進ノ爲メ

第二ニハ我同胞ノ活路確保乃至開拓ノ爲メ

第三ニハ帝國海運ノ基礎確立乃至擴張ノ爲メ至誠一貫主義ノ下ニ協力一致以テ我海員ノ地位ヲ向上シ生活ヲ安定ナラシメンコトヲ期ス

本組合ハ(1)組合員各位ノ品性ヲ向上セシメ (2)團體的精神ヲ助長セシメ (3)職業ニ對スル自尊心及ヒ責

任觀念ヲ涵養シ (4)技術ヲ鍛練シ (5)船内秩序ヲ重シシ健康ヲ保持シ労働能率ヲ増進セシメ苟

モ輕率妄動ヲ慎ミ以テ海員トシテノ内容充實ヲ期ス

本組合ハ權威アル團體的節制ノ下ニ組合員ノ結束ヲ鞏固ニシ政府當局及ヒ船主トノ聯絡ヲ保チ海員ニ關スル法律及ヒ労働條件ノ改善並ニ雇傭契約履行ノ監視組合員共同ノ福利ヲ擁護増進シ其ノ地位及ヒ生活ノ向上乃至安定ヲ期スルニ必要ナル事項ノ研究、主張、接衝、爭議、仲裁ノ局ニ當リ毫モ遺憾ナカラシメンコトヲ期ス

本組合ハ「ゼノア」ニ於ケル國際海員會議ノ決議ニ基キタル協約案ニ依リ完全ナル無料職業紹介所ノ成立ヲ期ス

本組合ハ組合員ノ負傷、疾病、失業、養老、死亡ニ關スル互助共濟及ヒ海員寄宿舎、病院等ノ施設ノ實行ヲ期ス

本組合ハ組合事業ノ經過及ヒ方針並ニ海員ニ關シ政府又ハ社會ニ出現シタル事項精神上ノ修養其他有益ナル情報機關トシテ雜誌又ハ新聞紙ノ發行ヲ期ス

日本海員組合規約

第一章 名稱及ヒ位置

第一條 本組合ハ日本海員組合ト稱ス

第二條 本組合ハ本部ヲ神戸ニ支部ヲ横濱ニ置ク